

はじめに

児玉香菜子

本報告書は2020年度から2021年度にかけて実施された千葉大学地域研究センター主催研究プロジェクト「環境変動下における牧畜民の定住化」の成果の一部をまとめたものである。「環境変動下における牧畜技術文化とその変化（2016年-2017年）」、「環境変動下における先住民の文化芸術・継承活動とその変遷（2018年から2019年）」の後続プロジェクトである。

本プロジェクトは環境変動下における牧畜民の定住化について、その実態を明らかにしようというものである。

本プロジェクトのメンバーは人文公共学府博士後期課程在籍のユニバト、アルタンバガナ、廣田千恵子、同大学院人文社会科学研究所博士後期課程在籍のソロンガ、博士前期課程在籍のオノン、スルナ、ムンゲンタオリ、人文公共学府特別研究員の池田健雄、北海道大学環境科学院PD研究員の小野智郁の9名である。池田健雄の専門は歴史学、小野智郁の専門は地理学である。それ以外のメンバーは、すべて文化人類学を専攻し、モンゴル高原を研究対象としている。

各自フィールドワークおよび文献資料の収集分析を継続実施するとともに、本プロジェクト研究活動の一環として実施した研究会で、それらの成果を研究発表している。また、地図作成講習会を2回ほど開催した（下記参照）。さらに、2020年秋より週1回のペースで勉強会を持ち、活発な議論をおこなってきた。それらを踏まえて今回論考を寄せたのがユニバトで、ほかにこれまで千葉大学文学部に提出された内モンゴルの定住牧畜民に関する卒業論文を2本掲載している。これらは定住牧畜民を対象にしたフィールドワークによるその成果を丹念にまとめ論考したものである。以下各論考を簡単に紹介する。

ユニバトの論文は中国内モンゴル自治区中西部における定住牧畜民の水問題に着目し、その実態を描き出したものである。牧畜民の定住化については様々な問題提起がなされているが、本論は定住化によって水資源アクセスへの不均衡とそれによる経済的な負担増と環境負荷について論じたものである。

大沼田陽介とユニバトの論文は大沼田陽介による2019年度千葉大学文学部卒業論文にユニバトが加筆修正する形で定住化による牧畜民の環境認識を衛星画像分析と降水量データから検証し、かつその生活変化について詳述したものである。とりわけ注目すべきは調査対象の世帯すべてが遊牧を望ましいとしている点である。これらも含めて聞き取り調査の内容は巻末に資料としてまとめられており、今後の調査、他地域との比較調査にも有効である

う。

佐藤香菜子の論文は2012年度千葉大学文学部卒業論文で、内モンゴル東部半農半牧地域の食を詳細に記録、分析したものである。自然環境と生業を踏まえたうえでの詳細な食の記録はモンゴルの食研究に新たな資料を供するものである。とりわけ、モンゴル高原、さらに内モンゴル東部内における食生活の多様性を描き出した点は特筆に値する。今後の比較研究にむけて貴重な資料となるであろう。

研究会の期日および報告者、報告テーマは以下の通りである。

千葉大学人文公共学府地域研究センター 2020年度プロジェクト研究会

日時：2020年11月8日（日）

共催：第37回モンゴル研究会

司会 児玉香菜子（千葉大学文学部准教授）

星野仏方（酪農学園大学農食環境学群教授）

「黄砂が舞い上がる蒼き狼の大地ーモンゴル高原の生態と人生」

総合討論

千葉大学人文公共学府地域研究センター 2021年度プロジェクト研究会

日時：2022年2月22日（火）

共催：第38回モンゴル研究会

司会：児玉香菜子（千葉大学人文科学研究院）

総合コメントーター 荻原真子（千葉大学名誉教授）

吉田睦（千葉大学人文科学研究院）開会のあいさつ

ソロンガ（千葉大学人文社会科学研究科博士後期課程）

「紛失ラクダの搜索作業ーラクダの個体識別に着目して」

アルタンバガナ（千葉大学公共学府博士後期課程）

「内モンゴルにおける芸術歌舞団の宣伝活動に関する考察ーウランムチルの観客者を事例にー」

廣田千恵子（千葉大学公共学府博士後期課程）

「素材別にみるモンゴル国カザフ手芸技法の特徴」

ユニバト（千葉大学公共学府博士後期課程）

「定住牧畜民の水不足問題ー中国・内モンゴルスニド左旗の事例から」

荻原眞子（千葉大学名誉教授）閉会のあいさつ

地図講習会

日時：2021年10月16日（土）

渡邊三津子先生（奈良女子大学大和・紀伊半島学研究所共生科学研究センター）

「第1回 QGIS を利用した調査用マップー高解像度の地図作成」

日時：2021年11月20日（土）

渡邊三津子先生（奈良女子大学大和・紀伊半島学研究所共生科学研究センター）

「第2回 衛星データのデジタル解析とNDVIの作成」

プロジェクト発表会

日時：2021年10月11日（月）

廣田千恵子（千葉大学人文公共学府博士後期課程）

「モンゴル国カザフ人の天幕型住居内部における装飾文化動態」

日時：2021年10月18日（月）

ウニバト（千葉大学公共学府博士後期課程）

「水利用から見た乾燥地定住牧畜民の実態—内モンゴル自治区スニド左旗の事例から」